

長房中学校区

地域づくり推進計画

(案)



令和 年 月

長房中学校区 地域づくり推進会議

目次

1. はじめに	
2. 地域の概況	1
3. 地域の将来ビジョン	7
4. アクションプラン	9
地域施設を活用して長房の地域情報を発信する	10
SNS を活用して長房の地域情報を発信する	12
地域イベント・行事で長房の地域情報を発信する	14
5. 地域づくり推進体制	17
6. 全体スケジュール(取組一覧表)	18
7. 資料編	19

1.はじめに

八王子市では、令和2年3月に「地域づくり推進基本方針」を策定し、「地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)」の設置が進められています。

長房中学校区では、令和3年に推進会議を立ち上げ、その地域が主体的に活動していく計画として「長房中学校区地域別推進計画(以下「推進計画」という。)」を策定し、令和4年度から進めていきます。なお、計画期間は5年程度とし、必要に応じて見直しを図るものとしします。

推進計画の策定にあたっては、地域づくり推進会議の中での検討を中心とし、地域で活動する団体や人材と連携したワークショップやフォーラムの開催を通じて、地域ぐるみで検討を進めました。

長房中学校区の住民として、より住みやすい地域になるために、何が必要か、地域住民の力を合わせてできることを推進計画にまとめました。地域の住民のみなさまに1人でも多く、本計画の趣旨や内容にご理解いただくとともに、今後の地域づくりにご協力いただきますようお願いいたします。

令和 年 月 長房中学校区 地域づくり推進会議

2. 地域の概況

1) 概略

長房中学校区は、八王子市西南部に位置する、南浅川の北側に広がる丘陵地帯です。船田石器時代遺跡と中郷遺跡の2つの史跡があります。

2001年に選定された八王子八十八景には、長房中学校区から「多摩御陵」「多摩御陵のケヤキ並木」「南浅川の桜並木」「南浅川橋」「南浅川の鯉のぼり」が選ばれました。「武蔵陵・多摩御陵」は東日本唯一の陵墓地でもあります。

市民主体の祭りも盛んで、長房ふれあい端午まつり、八王子いちよう祭りなど地域の特色あるお祭りが行われています。



2) 自然環境

長房中学校区には、東浅川沿いの桜並木や多摩御陵のケヤキ並木など、四季を通じて楽しめる自然があります。東浅川沿いには、サイクリングやウォーキングのための道が整備された「浅川ゆったりロード」があり、市民に親しまれています。



3) 人口



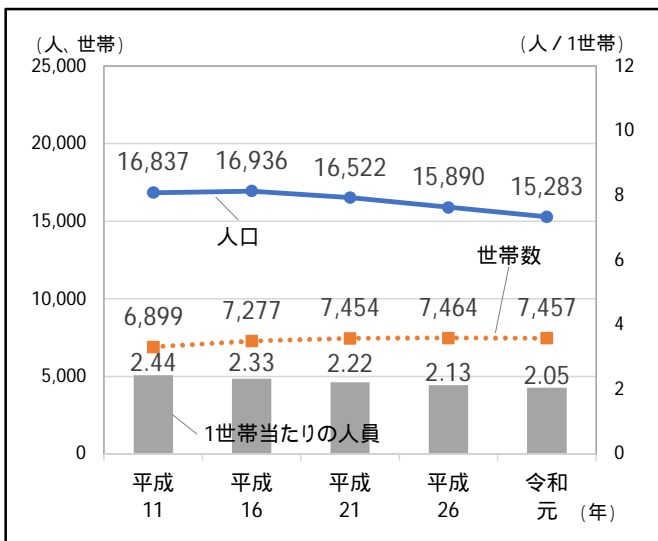
(データ:令和元年 「町丁別世帯数及び人口報告書」)

令和元年時点の長房中学校区の人口は 15,283 人で、世帯数は 7,457 世帯でした。長房中学校区の高齢化率は、市内で2番目に高い水準となっています。特に、都営長房団地内での高齢化率が高くなっています。今後、さらに高齢化が進んでいくと考えられる中で中学校区の行事や団体活動の持続可能性を考えていく必要があります。以下、長房中学校区の人口や世帯に関する経年の数値を八王子市全体のものと比較しました。

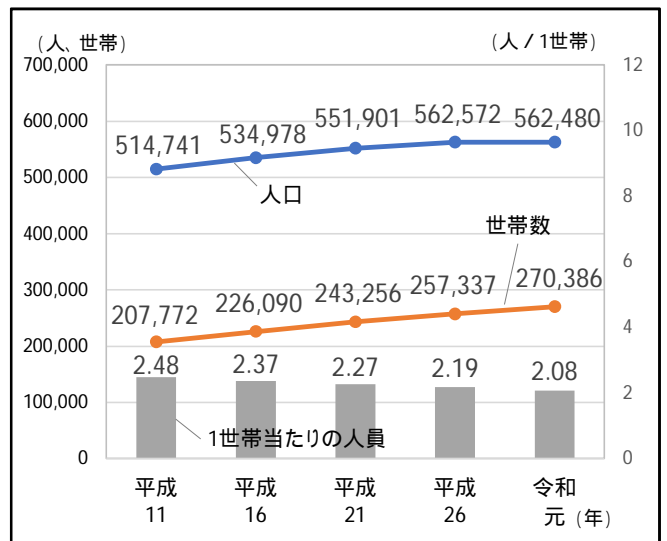
人口・世帯数・1世帯あたりの人員の推移

平成 16 年以降、減少傾向にあります。八王子市全域では、平成 26 年まで増加傾向にあり、それ以降はやや減少しています。長房中学校区の世帯数は、平成 26 年まで増加しており、それ以降はやや減少しています。

<長房中学校区>



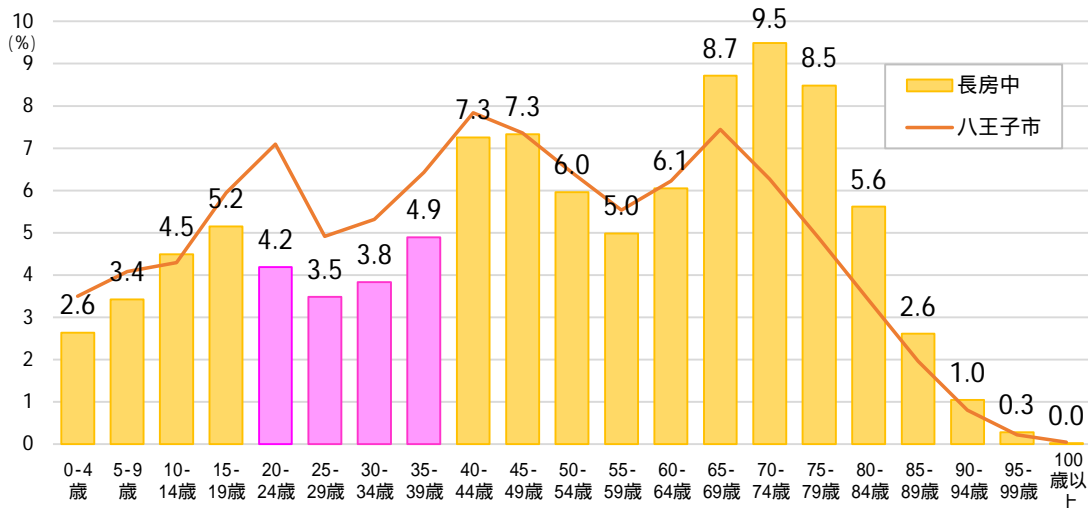
<八王子市>



出典:「町丁別世帯数及び人口報告書」八王子市

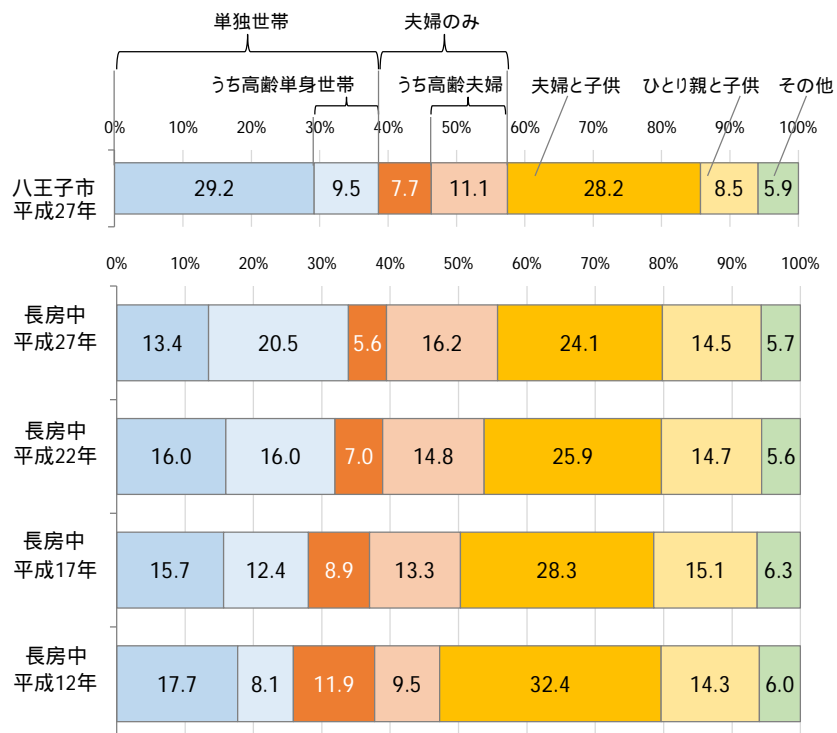
人口構成(5歳階級別人口構成)

長房中学校区の人口構成は、八王子市全域と比べ、特に20～39歳までの大学生や若い働き手世代の割合が低くなっています。



世帯類型(構成比)

長房中学校区の世帯類型の構成比は、「高齢夫婦世帯」や「高齢単身世帯」の割合が増加している一方、「夫婦と子供世帯」や高齢者以外の「夫婦のみ世帯」、「単独世帯」の割合は減少しています。平成27年には八王子市全域と比べ、「高齢単身世帯」の割合が特に高くなっています。



出典：「国勢調査(2015年、H27年)」総務省統計局

4) 歴史・文化

歴史・遺跡

長房中学校区内には、船田石器時代遺跡と中郷遺跡の2つの史跡があります。船田石器時代遺跡とは1927年に発見された縄文時代後期の敷石住居跡歴史的重要な意味を持つ遺跡でもあります。また、2001年に長房中学校区内の「多摩御陵(武蔵陵墓地)」が八王子八十八景に選定されました。陵墓内には北山杉が植えられ、大正天皇陵の多摩陵、貞明皇后陵の多摩東陵、昭和天皇陵の武蔵野陵、香淳皇后陵の武蔵野東陵の4陵があります。このような遺産を次世代まで守り続けるために、地域子どもたちが地域の歴史について触れる場を整えることも地域の役割といえます。



祭り・イベント

5月には「長房ふれあい端午まつり」があります。毎年、端午の節句に合わせて南浅川に約1000匹の鯉のぼりが上がります。本イベントへの累計従事者は900人となり、参加者は毎年1~2万人ほどいます。長房中学校区内の交流を増やすためにもこれらの行事への住民の積極的な参加を促す必要があります。



主な地区内の年間行事

- | | |
|------------------|-------------------|
| 4月: 各小・中学校入学式 | 10月: 横山北地区合同防災訓練 |
| 5月: 長房ふれあい端午まつり | 11月: いちょう祭り |
| 6月: 防災訓練(陵南公園) | 12月: 各自治会年末夜警、忘年会 |
| 7月: 納涼祭、盆踊り | 1月: 各自治会どんと焼き |
| 8月: 納涼祭 | 2月: 稲荷神社初午祭 |
| 9月: 各自治会清掃デー、敬老会 | 3月: 各小・中学校卒業式 |

5) 地域活動 (* 詳細は地域カルテに掲載)

ここでは、長房中学校区で活動する地域団体や地域人材の活動内容を紹介します。

町会・自治会(長房中学校区に 47 の町会・自治会)

町会・自治会に関して、厳密に中学校区単位ではなく、八王子市町会自治会連合会「横山北地区連合会」の情報や地域の活動町会情報をもとに掲載

- ・各自治体の行事
- ・回覧板の作成
- ・支え合いネットワークの運営(地域の見守り役)

青少年対策地区委員会(青少対)

- ・クリーン活動(地域清掃)
- ・三校地域交流会
- ・防災訓練
- ・青少対健全育成に係わる標語の募集
- ・青少対だよりの発行 など



放課後子ども教室

- ・長房小学校、船田小学校で平日毎日開催
- ・長房小学校の放課後子ども教室は学運教やPTAなど地域住民で協力して運営



長房ファーム

- ・誰でも通うことができる無料塾
- ・長房市民センターで毎週水曜日に実施



サークル活動

- ・長房市民センター、長房ふれあい館で開催
- ・文化系、体育系ともに多くのサークルが存在する

高齢者サロン(「ふれあい・いきいきサロン」「自主サロン」)

- ・長房には10の高齢者サロンがある
- ・サロンでは地域と連携してハロウィンパーティなどを開催している

6) 地域資源マップ



3. 地域の将来ビジョン

中学校区ワークショップや推進会議の中で、地域住民が長房中学校区のありたい姿の検討を行い、地域の将来ビジョン(目標)を掲げました。

長房中学校区の地域ビジョン



多文化・多世代がつながり みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房
～ みんなで描く幸福度の高いまちづくり～

長房地域の住民アンケートの結果や推進会議の検討から見てきた長房中学校区の**魅力**と**課題**をジャンルごとにまとめました。

【魅力・特徴】

(ア) 既存コミュニティに関すること

- ・季節のイベントやお祭りが多い
- ・各団地の号棟ごとに自治会長があり、町会活動が盛んである

(イ) 良好な暮らしに関すること

- ・自然と便利さ(買い物・病院等)が両立している
- ・駅までのアクセスが良い
- ・のどかで住みやすい

(ウ) 地域施設に関すること

- ・コピオ長房の誕生により、住民が集う場所ができた

(エ) 歴史・文化に関すること

- ・東京陸軍幼年学校や船田石器時代遺跡など
長房中学校区には古くからの歴史がある

(オ) 自然・四季に関すること

- ・山、川、桜並木などがあり自然豊かである
- ・公園が多く、緑が多い

【課題】

(ア) コミュニティの希薄化

- ・古い住民と新しい住民の関わりが少ない
 - ・高齢者の孤立化
-

(イ) 交流機会・居場所が少ない

- ・多世代での交流機会や居場所が少ない
 - ・特定の団体等に参加している人しか参加できないイベントがある
-

(ウ) 活動の担い手の不足

- ・地域活動への参加方法が分からない
 - ・60代のリタイア世代が地域活動から抜けている印象
 - ・次世代の地域活動を担うリーダーづくりが必要
-

(エ) 施設整備の不足

- ・学校の災害時の避難場所として機能が不十分である
 - ・街路灯や公園のトイレが少ない
-

(オ) 情報発信・共有の不足

- ・地域情報の発信をしているものの地域住民に伝わっていない
 - ・世代によって情報収集の媒体が異なるため、情報発信の工夫が必要である
 - ・若い世代は広報や回覧板情報を見ないため地域情報が入手しにくい
 - ・個々の地域情報の発信には限界があり、連携して行う必要がある
-

(カ) 防災に関すること

- ・身近な避難場所が少ない
- ・都営団地では高齢化もあり、在宅避難者が多い

地域づくりを進める上で、今ある**魅力・特徴**を活かして、**課題**を解決していく必要があります。これらを踏まえて、住民主体で取り組んでいくアクションプランを考えました。

4. アクションプラン

地域住民が集まり、住民主体でできることを話し合った地域推進会議の中で、前出で掲げた地域の将来ビジョンを実現するために住民主体で取り組む内容を決めました。その中でも優先的に取り組むアクションプランを決めました。

長房中学校区でまとめたアクションプランのメニューです。

次ページに詳細を記載しています。なお、各アクションプランに対応する課題を記載しています。

長房中学校区アクションプラン一覧(案)

【優先的に取り組むアクションプラン】

地域情報の発信力の強化 課題(オ)

- 地域施設を活用して長房の地域情報を発信する
- SNS を活用して長房の地域情報を発信する
- 地域イベント・行事で長房の地域情報を発信する

【アクションプラン】

地域コミュニティの活性化 課題(ア)、(イ)

- ・新旧問わず住民同士のつながりをつくる「あいさつ運動」に取り組む
- ・多世代が参加・交流できる地域合同のスポーツ大会を開催する
- ・世代が気軽に立ち寄れる交流の場をつくる

地域の担い手の育成 課題(ウ)

- ・長房の地域づくり担うリーダー育成講座を開催する

地域の防災力の向上 課題(カ)

- ・身近に避難できる防災拠点・避難場所を整備する
- ・太陽光発電による蓄電池を地域内に整備する(行政への要望)

地域ニーズに応じた施設整備 課題(エ)

- ・公園・トイレを整備する(行政への要望)
- ・夜間暗い道路に街路灯を増設する(町会・自治会との連携、行政支援)

優先的に取り組むアクションプラン【地域情報の発信力の強化】

地域施設を活用して長房の地域情報を発信する



取り組み概要・進め方

まずはコピオ長房で地域情報を発信する

- ・コピオ長房の設備を活用した発信(スクリーンが利用できる 記録映像の上映やパネルでの画像の展示)
- ・コピオ長房の利用ルールを確認する

地域情報を発信ができる施設とそれぞれの利用情報(費用・掲示・配布ルール等)の一覧を作成する

地域情報の発信元(活動団体等)の情報を整理する

地域内のさまざまな取組を定期的に発信する

- ・地域のカラーを決めて、目につくデザインで発信(チラシ等の色を統一する等)

ターゲット/対象	担い手/協力者
長房地域の住民 <ul style="list-style-type: none"> ・親子(子育て世代) ・現役世代 今後の担い手として期待 ・高齢者等 	【担い手】 コミュニティタウン長房(コピオ長房との窓口) ・情報発信したい団体 コミュニティタウン長房 【協力者】 若年層を中心とし多世代との連携 ・中学生・高校生・大学生(ボランティア部等)/ 児童館/ボーイスカウト/青少対/青少年育成団体 SNS やパソコンが得意な人 ・発信する際に使う映像を編集してもらう
発信内容	どこで/いつ/頻度
活動団体の情報 <ul style="list-style-type: none"> ・団体イベントの告知/求人/団体の活動報告 地域のイベント情報 <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの告知/スタッフ募集/結果報告 端午まつり(来年度の開催について発信希望) <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお店情報 ・割引クーポン等/お得情報/弁当の配食サービス 地域の名所・風景・インスタ映えスポット <ul style="list-style-type: none"> ・東浅川など桜の名所/子どもが楽しめる要素 	ターゲットに応じて情報発信する場所を検討 商業施設 個人商店も <ul style="list-style-type: none"> ・コピオ長房(コピテラス・情報発信スペース等)/ コンビニ/スーパー(コープ・アルプス・カインズホーム等)/移動スーパー/飲食店(居酒屋等) 医療施設、薬局等 主に高齢者向け 公共施設 ・市民センター/長房ふれあい館/シルバー見守り相談室/教育施設(学校・児童館・保育園・幼稚園) その他 ・町内会の掲示板/団地の集会所・エレベーター/寺
開始時期/スケジュール	必要な物資・資材など
4月から開始希望 <ul style="list-style-type: none"> ・まずは作戦会議を開催 ・プレイベントを開催し情報発信(プレイベントは親子で参加できるもの) 	QRコード、デジタルサイネージの活用

地域づくり推進計画 スケジュール

今後の実行計画																																											
活動内容	2022年												2023年				2024年				2025年		2026年																				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月																			
全体の流れ	検討開始																																										

作成中
 詳細スケジュールは
 第7回地域づくり推進会議で検討

優先的に取り組むアクションプラン【地域情報の発信力の強化】

SNS を活用して長房の地域情報を発信する



取り組み概要・進め方	
<p>SNS 発信組織(運営主体、拠点)をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で SNS を運用するための組織をつくる(情報収集、情報発信用 SNS の運用) SNS を使える環境づくり ・SNS に使い慣れていない人や団体向けに使い方教室を開催 講師は若者(多世代交流につながる) ・各団体が紙媒体などで持っている既存の情報を収集する ・地域情報の発信ルール(個人情報に掲載しないなど)を決める ・次のステップとして、WEB での情報発信も行う (生徒が学校のパソコンから運用可能) 運営主体はマネジメントを行う ・SNS の使い方マニュアルや投稿ルールを作る 各団体にシェア ・投稿内容を定期的にモニタリング(ルールから外れた投稿内容がないかなど) 主な投稿者は、地域情報を発信したい団体や学生、若者 ・地域情報を発信することで地域への愛着につながる (長房中に「魅力発信部」の創設を検討) 	
ターゲット/対象	担い手/協力者
<ul style="list-style-type: none"> ・長房地域の住民 ・回覧板を見ない人 ・若者 	<p>【担い手】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体は、各団体や地域からやりたい人を募る ・推進会議メンバーが募集する 1 人でも中心人物がいると継続する <p>【協力者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS やWEB が得意な保護者や地域の方が支援
発信内容	どこで/いつ/頻度
<p>楽しい内容(SNS は楽しいことを発信する場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは地域イベントから始める 学校行事 ・各学校の展覧会/地域と学運協の連携等 カテゴリをつくる ・スポーツ活動/習いごと活動/イベント/防犯/回覧板情報等 	<p>まずは運用ルールを決めやすいLINE@からはじめる</p> <ul style="list-style-type: none"> LINE@ (個人情報拡散の問題がない) 慣れてきたら多世代にリーチする SNS を使用 ・インスタグラム、TIKTOK(10 代向け)等 内容によって頻度は変わる
開始時期/スケジュール	必要な物資・資材など
<ul style="list-style-type: none"> 投稿スケジュールを作成する ・投稿スケジュール(誰が、いつ、頻度)を作成することで継続的な SNS 運用につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 集まる場の確保 ・対面で集合、打ち合わせできる場所 ・地域団体の施設などを借用する

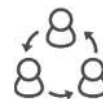
地域づくり推進計画 スケジュール

今後の実行計画																													
活動内容	2022年												2023年				2024年				2025年		2026年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月					
全体の流れ	検討開始																												

作成中
 詳細スケジュールは
 第7回地域づくり推進会議で検討

優先的に取り組むアクションプラン【地域情報の発信力の強化】

地域イベント・行事で長房の地域情報を発信する



取り組み概要・進め方	
<p>まずは取り組みやすいイベント・行事を活用してマップやチラシを配布する(お試しで実施する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施時のチラシの配布やポスターの掲示などを活用 <p>実行委員会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい人も取り込み、みんなでイベント・行事を運営(準備)する <p>長房地域のイベントと行事の一覧を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント・行事の活動を共有する(各イベント、行事の運営側に様々な団体や個人が重複している) <p>地域情報を発信するポスター・チラシ(紙媒体)を制作する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで長房のイベント情報マップをつくり、配布する(各イベント等に詳しい人も紹介する) <p>既存のイベント・行事の集客力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店を出す、プレゼントする、めずらしいモノを紹介する、目玉をつくる ・若者視点でアップデートする(楽しみながらイベント等の運営を担う) <p>既存のイベント・行事を次の世代に教えつないでいく それ自体が交流になる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全に気をつけた運営ができるようにする(先輩の経験や知恵を伝える) 	
ターゲット/対象	担い手/協力者
<p>長房地域の情報が届いてない人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会に所属していない人 <p>子ども</p> <p>高齢者</p> <p>地域を越えた活動にしていく必要がある</p>	<p>【担い手】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会 ・運営には多世代の協力者を募る ・大学生/中高生(大学生 中高生に紹介) <p>【協力者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の各団体 ・シニアクラブ/町会(長房には12町会ある)/自治会/商店街/サロン等 得意分野を持つ人に協力してもらう ・ポスター制作などが得意な人 ・ブラスバンド/民謡・盆踊りなど踊りグループ等
発信内容	どこで/いつ/頻度
<p>長房地域のイベント・行事の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事は以下の基準で切り分けて発信 <p>地区/世代/開催曜日/期間限定/年間行事</p> <p>お店の情報、長房のおススメ情報</p> <p>文字情報より、ポイントとなる言葉、イラスト、写真、特点などを中心に構成</p> <p>マップ(地域情報、交通経路、イベントの行き方等)</p> <p>回覧板 ネット/SNS タウンニュースなどと連動も</p>	<p>ターゲットに応じて情報発信する場所を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会非加入の家庭もあるため、地域住民が広く参加できるイベントが良い <p>検討したイベント一覧は次ページ参照</p>
開始時期/スケジュール	必要な物資・資材など
	<p>都などの補助を活用</p>

地域イベント・行事の一覧

どこで/いつ/頻度	
1月	・初もうで・どんど焼き ▶ 長房の町会・自治会(中郷町会・原宿町会など) ・もちつき大会 ▶ 川があるエリアで行われる
2月	・豆まき・卓球大会
3月	・ひなまつり ▶ 置く場所がないけど見てほしい雛人形が集まる ・グランドゴルフ大会 ▶ 70名くらいが参加年2・3回/若かったで賞がある
4月	・お花見 ▶ 並木の提灯をつける作業がある
5月	・端午まつり ▶ 4月頃からこいのぼり
2・9月	・長房ふれあいウォーク(年2回)
7・8月	・納涼祭
10月	・ハロウィン大会 ・高齢者の昼食交流会(民生委主導)
11月	・あるけあるけ大会 ▶ 50名くらいが参加/10km歩く ・第3土日いちょうまつり
12月	・クリスマス会
年間 行事	・少年野球
その他	・(今年から)不用品交換会(自治会合同) ・(例えば端午まつり)カラオケ、踊り、第ビンゴ大会など参加の入り口が実はたくさんある

地域づくり推進計画 スケジュール

今後の実行計画																																	
活動内容	2022年												2023年				2024年				2025年		2026年										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月									
全体の流れ	検討開始																																

作成中
 詳細スケジュールは
 第7回地域づくり推進会議で検討

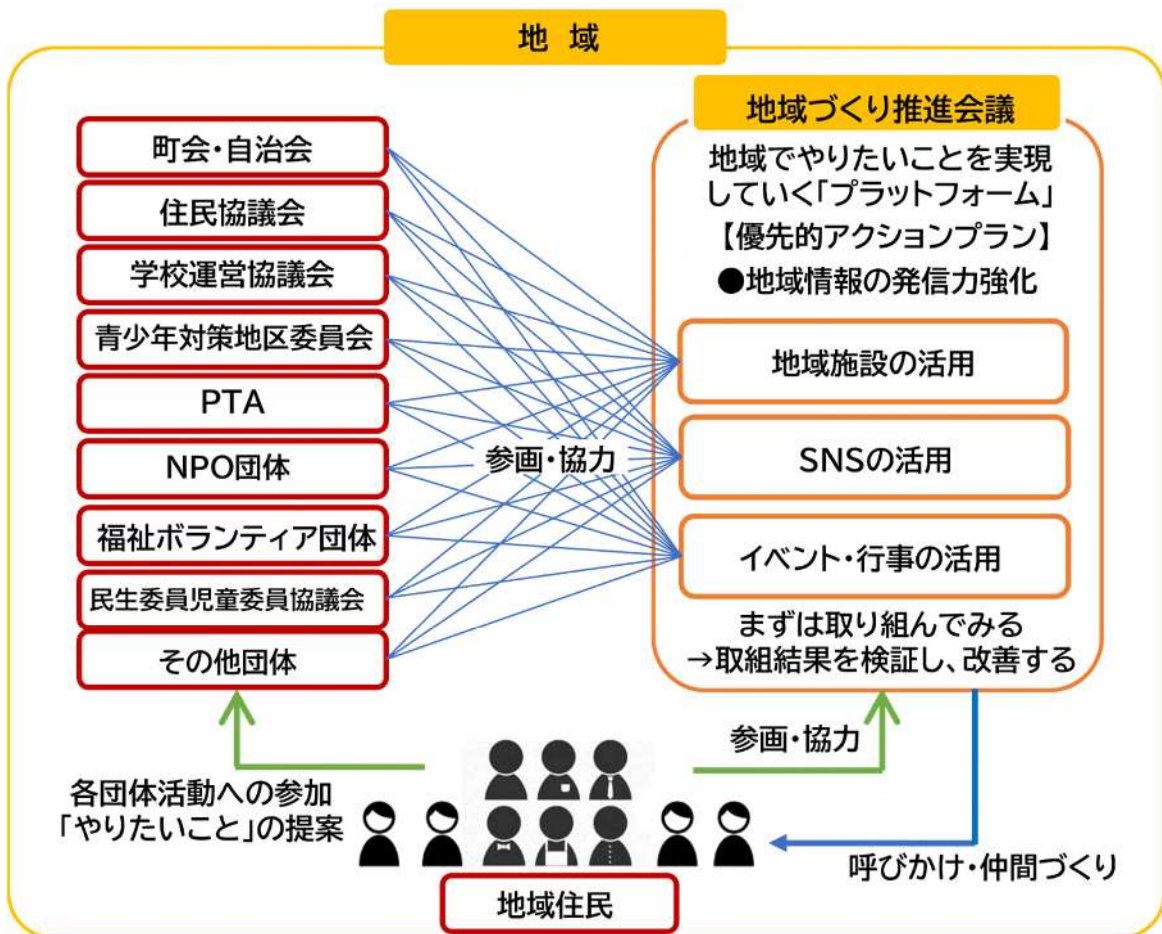
5. 地域づくり推進体制

地域の将来ビジョンの実現を目指した持続的な地域づくりは、推進会議参加者に加えて、地域のさらなる担い手や協力者の力が必要です。推進会議は、多世代・多分野にわたる地域の活動団体や住民が参画することで、地域でやりたいことを実現していく『プラットフォーム』となる場として機能していきます。

令和4年度(2022年度)は、前述を実行するための体制として、暫定的に優先して取り組むアクションプランごとに「(仮称)検討会」を設置し実行していきます。

長房中学校区の地域づくり推進体制は、令和4年度(2022年度)の取組状況などを勘案し、地域の活動団体や住民が横のつながりを持ちつつ、協力し合えるよう整備していきます。

地域づくり推進会議の暫定的な推進体制



6. 全体スケジュール(取組一覧表)

<p style="text-align: center;">長房中学校区の地域ビジョン 多文化・多世代がつながり みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房 ~みんなで描く幸福度の高いまちづくり~</p>										
NO.	アクション プラン名	取組内容	役割分担			スケジュール				
			住民	行政	その他	2022	2023	2024	2025	2026
	地域施設で 情報発信									
	SNSで 情報発信									
	地域行事で 情報発信									

7. 資料編

地域づくり推進会議参加者

氏名	所属及び役職等
浅井 祐子	長房中学校PTA 副会長
宇田 友子	民生児童委員第12地区 会長
大塚 英生	長房西保育園 園長
大田原 栄里花	元長房小学校PTA 会長
鈴木 比呂志	長房ファーム 代表
坂本 博美	元長房中学校PTA 会長
田中 洋子	八王子国際協会 理事
塚本 吉紀	長房中学校学校運営協議会 会長
西山 典明	都営西アパート連合自治会 会長
長谷川 優里	長房小学校PTA 副会長
藤原 英行	船田小学校PTA 副会長
本堂 房雄	長房小学校学校運営協議会 委員
松葉 浩充	長房地域住民協議会 会長
森 秀三	青少年対策長房地区委員会 会長
山陰 秀子	ひまわりサロン長房 代表
山中 馨	市民活動協議会 委員
渡辺 隆男	長房小学校放課後子ども教室「すまいる」

計画策定プロセス

会議名称	日時
地域づくり推進会議 第1回	令和3年6月26日(土)
地域づくり推進会議 第2回	令和3年7月11日(日)
地域づくり推進会議 第3回	令和3年10月3日(日)
地域づくり推進会議 第4回	令和3年10月23日(土)
地域づくり推進会議 第5回	令和3年11月6日(土)
地域づくりワークショップ	令和3年11月27日(土)
地域づくり推進会議 第6回	令和3年12月11日(土)
地域フォーラム	令和4年1月16日(日)
地域づくり推進会議 第7回 予定	令和4年2月5日(土)
地域づくり推進会議 第8回 予定	令和4年3月6日(日)